

令和4年度（2022年度）「OPEN！みんなで話そう！やまさき市長とともに」における市民からの声（提案・意見等）への対応状況

年度	日時	テーマ	担当課	No.	市民からの声 (意見・提案等)	当時の回答内容 (課題、問題点、今後の方針)	対応状況 (プルダウンより選択)	これまでの取組内容	今後の方針等
令和4年度 (2022年度)	12月18日	子ども達の未来を育む小中一貫教育について	学事課	1	小中一貫校について本当に丁寧にしてもらわないと、先生も倒れてしまう。子どもも保護者も混乱する。先生たちの多忙感や負担感が大きい。子ども達に先生の目がしっかり届くような学校づくりをする必要がある。	教職員には教育委員会から丁寧に説明する。教職員の働き方や負担について考えていかないといけない。方針を決める上では市民の皆さんの話を聞きたいと思っている。また、教育委員会から説明する機会も出てくる。そのときに今のご意見も踏まえて考えていきたい。	未済	宝塚市立小学校及び中学校における通学区の整合と義務教育学校（小中一貫校）の基本方針の検討・作成を進めていたところ、宝塚第一小校区の地域から通学区に関する話があった。宝塚第一小学校教育環境適正化検討委員会を設置し、協議・検討を進めた。他にも西谷地域や長尾小校区及び光明小校区でも同様の議論が始まっており、一部地域について先行して取組を進めてきた。	引き続き地域や保護者と協議・検討を進めていく。
				2	小中一貫校について保護者は知らない。子どもや保護者の視点でメリット・デメリットをまとめて対話していくことが必要だと思う。	子どもの視点は「絶対」であり、地域の理解なくして進めることは出来ない。地域とともにやっという思いでいる。	未済		
				3	校区が複雑なところは、整合に向けた取組についての理解を求めため、長い期間をかけて保護者、地域に説明していかないといけない。小中一貫教育の導入前より、導入後の方が予算・人的支援など、色々必要である。それも併せて計画してほしい。形が整えば終わりではない。	予算については、しっかりと協議をして必要なものをつけていきたい。小中一貫教育の目的は、今の子ども達に合った教育環境を整えていくこと。先生達も子どもの教育環境の1つだと思っている。やってみる中で新たに課題が出てくるかもしれないが、柔軟に対応しながら、一番良い形で進めていく。	未済		
				4	中山台地区の学校統合を振り返り、子どものためとは、保護者の意見を聞くとはどういうことなのか、再度考えてほしい。小中一貫教育の方が課題がたくさん出てくると思う。しっかりと協議をして考えていくことが大事。市民協働推進課にも考えてもらい、市として取り組んでもらいたい。	問題が起こったときには、丁寧に対応していく必要がある。子どもに寄り添った貴重なご意見であり、丁寧に対応していこうと思う。	未済		
				5	行政のスピード感がすごく遅いと感じている。丁寧にやらないといけないところとダイナミックに改革しないといけないところの2つある。柔と剛を使い分けて早く推進してもらった方が良い。	小中一貫教育を決断したのが私たちなので、しっかりと進めていこうと思う。皆さんにとって一番良いと思うことをやりたいと思っている。課題を解決しながら、スピード感を持って進めていきたい。	未済		